



ごあいさつ

会長

久慈士郎



初秋の季節となりました。残暑厳しいなかではありますが、会員の皆さまにおかれましては、夏の猛暑を無事乗り切りお元気で過ごしてのこととお喜びを申し上げます。

さて、6月23日(日)

には、東天紅上野店にて「野田はまなす会総会・交流会」を72人出席のもと開催することができました。小田祐士村長、米田忠一村議会議長、村議会議員の皆さまには遠路野田村からおいでいただきました。そして、多くの会員、ご来賓の参加を頂き、盛大に開催することができましたこと、感謝申し上げます。

交流会におけるイベントとして、例年出演のトランペット奏者ハイクラソーナ(代表佐野啓)、野田村観光大使であり民謡歌手の伊藤多喜雄さん、

今回特別参加の愛知県岡崎市を中心に音楽活動をしている女性3人グループ「shamo(シャモ)」の皆さんから、演奏あり、歌あり、トークありで会場は大いに盛り上がりしました。

「shamo」の皆さんは、はまなす会員の静岡県在住である日當郁夫さん(横町出身)の知人で、そのご縁で東日本大震災後に野田村の保育所などで数回にわたり支援コンサート活動をされているとのことでした。11月頃、野田村訪問の予定だそうです。交流会後半には、くじ引き(村長賞・議長賞・会長賞)そして野田村民歌、ふるさと、野田中学校校歌を全員で合唱しお開きとなりました。当日は会員相互の親睦や議員団との交流、多方面による話題など、参加者の皆

さまに感謝の絶えない一日でした。また、「野田はまなす会」も高齢化により会員の減少、役員に至っては後期高齢者の域に達しており、今後の存続が危惧されます。ぜひとも、知り合いの人を紹介してほしいと、お願いしたいことを付け加えます。

10月6日(日)の「日帰りレクリエーション」は千葉県松戸市(21世紀の森BBO会場)で開催します。今回は、村の協力を得て「心はいつもの山村」の皆さまにも参加を呼びかけ、村の物産品を食しながら、垣根を越えた交流、会の活性化と発展につなげたいと思います。友人、知人、ご家族の皆さまをお誘いので、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

結びに、日頃より当会へのご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。同時に、我野田村のさらなる発展とご家族の皆さまの益々のご健勝とご多幸をご祈念し、あいさつとさせていただきます。

ごあいさつ

野田村長
小田 祐士



初秋を迎え、貴会の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろからふるさとである野田村のため、心温まるご支援とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

先日野田まつりは、暑い日差しが照りつけるなか、3日間盛大に開催されました。最終日の夜は、あいにくの雨でしたが、打ち上げ花火が過ぎ行く夏を飾りました。来場者らは、元気の掛け声、笛や太鼓の心地良いお囃子に胸を躍らせながら、勇壮な山車やみこしを笑顔で見守っていました。

さて、村では本年度、交流物産等複合施設の工事を進めています。来年5月の大型連休の開業を目指していますので、開業したあかつきには、皆さまにもぜひ足を運んで

いただけますと幸いです。

また、昨年度着工した野田小学校の新築整備では造成工事から建築工事に移り、学校の全体像が見えて参ります。

これらの事業を通じて、新たな交流人口の拡大と、「安全・安心で活力のあるむらづくり」を進めるとともに、先人から受け継いだこの自然豊かなふるさと、脈々と受け継がれてきた伝統と文化を関係各位と力を合わせて、「住民にとって住んでいることを誇りに思える村」として、次世代に引き継いで参りたいと考えています。

結びに、会員の皆さまのますますのご健勝とご多幸、野田はまなす会の限りない発展、そして末永い交流をご祈念申し上げます。あいさつとさせていただきます。

野田はまなす会総会・ふるさと交流会の様子



- ①特産品抽選会で村長賞を懸けたじゃんけん大会
- ②ハイクラソーナの佐野 啓さんによる演奏
- ③伊藤多喜雄さん（野田村観光大使）の圧巻の歌声
- ④参加者で野田中学校の校歌などを合唱
- ⑤久しぶりの再会に話が弾みます！
- ⑥愛知県岡崎市を中心に活動する Shamo のメンバー

会員の声

「音楽でボランティア」



横町出身・
野田中昭和42年卒
日當 郁夫

私は今年72歳を迎えます。野田小学校のときに買って貰った楽器「ハーモニカ」が縁で、野田中学校では、ブラスバンド部でした。中学校を卒業し、地元の高校に合格するも、都会に憧れて、愛知県内のトヨタ自動車系列会社に就職し、1年後から、働きながら定時制高校に通いました。

1年遅れて定時高校に入學したため、20歳の時に卒業しました。このとき、人と話をする仕事をしたいと考え、野田村の駐在さんが家に来て楽しく話をしていた当時を思い出し、愛知県警察官採用試験を受験し、警察官となりました。音楽好きもあって、愛知県警察音楽隊員に人事異動となりました。駐在所に12年間

勤務し、岡崎署管内の河合地区に人事異動となり、地元の皆さんから「楽器を吹く駐在さん」と呼ばれるようになりました。

地区での音楽仲間「河合オヤジバンド」、女性3人のボーカルユニット「Shamo（シャモ）」とも知り合い、一緒に演奏を行っていました。そんな矢先、あの東日本大震災が発生。すぐに野田村に帰郷できず、震災から40日後に、車で移動準備をしていたところ、管内の人たちから野田村を心配する電話や、義援金、保育所へのおもちゃなど、心温まる品をいただき、車に積み込みながら感謝で泣いていました。岡崎を出発し、約20時間かけて野田村に着き、被害や実家を含め、とても酷い状況でした。

その後、仮の保育所となっていたところに行き、楽器を吹き、元気に歌ってもらい、園児におもちゃなどを配りました。避難所や老人ホーム、野田ま

つりのときは、小林フォトさん前でも楽器を演奏し、みんなに笑顔になってもらいました。

定年を迎えても「河合オヤジバンドや Shamo」の音楽交流は続いています。「河合おやじバンド」代表の原田さんたちが被災した私のふるさとを音楽で元気にしたいと「Shamo」のメンバーと一緒に引っ越してきました。私も行き保育所や村のセンターで、音楽ボランティアコンサートを開催しました。野田村が好きになった「Shamo」の3人が野田はまなす会総会に参加して、歌ってくれました。そして、今年の11月に再び「河合オヤジバンド」と「Shamo」のメンバーが、野田村に音楽ボランティアで行く予定だそうです。野田村が好きになり、今でも愛知県岡崎市から野田村支援として、音楽ボランティアをしていることを皆さんに知ってほしいと思います。本当に感謝です。

会員の声

「ふるさと会の皆さまこんにちは」



（旧姓・伊澤）
横町出身・
野田中昭和42年卒
中村 睦子

私は、故郷から東京中野区に出てきて、今は茨城県つくばみらい市絹の台に住んでいます。その間に、主人の両親と、野田の両親を見送りました。55年余り現在のところに住んでいます。ご近所の一人が主人の母と同じ名前で、毎日お弁当持参で我が家に来て、楽しくお付き合いをさせていたでいます。富山県出身の94歳のピアニストで、体格が良いので戦争のときは、肥溜め運びをさせられたなどのお話をされます。ハイドンとか、ド

ビュッシーの月の光など、優雅な物語の話をされて、大変教養のある人でビックリしています。今、ウクライナ戦争の風景を見るに、残酷な思いです。



野田村での喜寿を祝う会

第1回役員会の開催

第1回役員会が4月14日に役員15人が参加し、上野東天紅で行われました。今年のはまなす総会を同会場で行うにあたり、年会費や総会の費用、ゲスト出演、当日の役割分担などの懸案事項を協議し、緊張高まる役員会となりました。

また、本会の2大イベントである秋の日帰りレクリエーション開催ですが、今回は東京幹事が担当で、開催日時、内容の検討をしていく事になりました。個々の近況報告やふるさとの情報交換、会の発展など、話は尽きませんが、6月総会の開催を待ちわびて、散会となりました。

第2回役員会の開催

第2回役員会を8月6日に目利きの銀次虎ノ門店で行いました。

出席者は桜庭顧問、久慈会長の他5人でした。久慈会長から報告事項として、6月23日はまなす会総会の総括と、秋の岩手県人会献血活動について、他の友好団体総会参加者の要請の件、10月6日開催の日帰りレクリエーションは千葉県松戸市（21世紀の森BBQ会場）で開催したいと話があり、手配や段取りについて、協議を行いました。今回は野田村の協力を得て、村の応援サポーター「心はいつものだ村民」の皆さまにも参加を呼びかけ、会の発展と活性化につなげたいと話があり、友人、知人、ご家族の皆さまにも声掛けをお願いしますと話がありました。

【あとかき】

(M・Y)

- ◆猛暑のさなか、いかがお過ごしですか。
- ◆ウクライナ・ガザの紛争に痛みを覚えます。
- ◆パリ五輪で日本選手の活躍に拍手喝采。
- ◆「戦争と平和」これも現実の世界。
- ◆全ては、人間の心次第で決まる。
- ◆いつになったら世界が平和になるのか。
- ◆一人ひとりの賢明な生き方が問われる。
- ◆支え合う仲間がオアシスになる。
- ◆「元気にしてる?」、この一声がありがたい。
- ◆おっと、この酷暑をどうやって過ごす。
- ◆皆さま、くれぐれもお体をお大事に。

岩手県人連合会 献血奉仕活動に参加

東京地区幹事

戎谷 牧子

今年も「岩手県人連合会」による献血奉仕活動が5月26日に池袋駅東口広場で行われました。野田はまなす会からは、5人が参加しました。東口広場は駅近で人通りがあるため、多くの人が献血を願いながら呼びかけを

行いました。献血とは、病気やけがで輸血や血漿分画製剤を必要とする患者さんのために、自分の血液を自発的に、無償で提供するのです。皆さんの善意の献血のおかげで、多くの患者さんの命が救われています。これからも多くの人が献血にご協力してください。献血にご協力していただき、ありがとうございます。



写真右から2人目が戎谷さん

令和6年度 日帰りレクリエーション

食べて、飲んで、ふるさとを語る バーベキュー大会

- ・期日 10月6日(日) 午前10時30分～
 - ・場所 千葉県松戸市「21世紀の森と広場」
(木もれ陽の森のバーベキュー場)
 - ・集合 JR武蔵野線「新八柱駅」南口出口
新京成線「八柱駅」南口出口
 - ・会費 3,000円 ※小学生以下無料
 - ・申し込み先
- | | | |
|------|-------|---------------|
| 顧問 | 桜庭 昌吾 | 090-9002-4356 |
| 会長 | 久慈 士郎 | 090-5567-5795 |
| 副会長 | 米田 忠男 | 090-8516-7866 |
| 副会長 | 山根 正信 | 070-2152-1682 |
| 幹事長 | 坂本 悟 | 090-4841-3612 |
| 副幹事長 | 志村 良子 | 090-4134-2239 |

【申し込み期限：10月2日(水)まで】